

「2016年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査(春季沿岸域調査)」の実施について

「第二期北西太平洋鯨類捕獲調査計画」に基づき、宮城県石巻市鮎川沖で鯨類捕獲調査が実施されます。

1. 調査の目的及び概要

本調査は、鯨類の摂餌生態を詳細に解明し、海洋生態系の総合的管理に貢献するため、毎年、春と秋に実施されているものです。

例年、春は宮城県石巻市鮎川沖、秋は北海道釧路沖でミンククジラの捕獲調査を実施しており、胃内容物の餌生物種の同定、内容物量の測定、生物学的情報の収集等を行っています。

本調査は、国際捕鯨取締条約第8条に基づき、農林水産大臣の許可を受けて実施されるものです。

2. 調査実施主体

一般社団法人 地域捕鯨推進協会

調査総括 加藤 秀弘(東京海洋大学 教授)

調査団長 安永 玄太(一般財団法人 日本鯨類研究所)

3. 調査期間

捕獲調査については、平成28年4月9日(土曜日)から5月下旬まで実施(捕獲上限頭数に達し次第終了)。

なお、捕獲調査に先行し、4月6日(水曜日)から非致命的調査の実行可能性・有用性を検証するため、ミンククジラからのパイオプシー標本(注)の採集等を開始予定。

(注)DNA等を解析するため、鯨の表皮の一部を採取するもの

4. 調査海域

宮城県石巻市鮎川港を中心とした半径50マイル以内の海域

5. 調査参加船

標本採集船:4隻

6. 捕獲対象種及び捕獲上限頭数

ミンククジラ51頭

— お問い合わせ先 —

資源管理部国際課

担当者:捕鯨班 高屋、成澤

代表:03-3502-8111(内線6762)

ダイヤルイン:03-3502-2443

FAX:03-3504-2649

水産庁